

# みたけ夢だより

3月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

心に伝わっていくもの

校長 長尾 晴美

小さい頃大好きだった本に「いやいやえん」があります。読んでもらったこともあれば、少し大きくなってから自分で読み返してもいた本です。同じ書店からの「ぐりとぐら」「おおきなかぶ」など数々の絵本を世に出された元編集者、福音館書店相談役の松居直さんが書かれた「絵本は心のへその緒」の中に、次のような一節があると先日の新聞で紹介されていました。

「気持ちを込めて語られた言葉は、人間のものすごく深いところに伝わり、残り、ときを経て出てくる」一度も教わったことのない子守歌をなぜ歌えるのか、松居さんが見つけた答えだそうです。



学校の一階ホールには、みたけ夢教育応援団の校内飾りつけリーダーさんが飾ってくれたおひな様が微笑んでいます。応援団に登録した保護者や地域の方からの、今年度を振り返るアンケートを、地域コーディネーターさんが集約してくれました。応援団の方には、学校の緑化、環境整備や図書室の本の修理、eタイム、ミシン掛け、クラブ活動、書初めでの学習支援、みたけ米作り、わら細工など、日々の学校生活の中で、今年もたくさんのサポートをしていただきました。

「子どもが夢中になって楽しむ姿を見られたことがよかった」「子どものありがたい言葉がうれしい、やりがいがある」「自分たちのアイデアが実現できてうれしい」「地元の小学校が身近に、われらが小学校と感ぜられる」などたくさんの感想に、こちらも励まされた思いがしました。

大人に読んでもらった絵本の記憶が生涯残るように、大人が気持ちを込めてやってくれたことや姿も、子どもの記憶に残っていくものと信じています。学校で私たちが発している言葉に、そのような力を込めたいと願うとともに、陰になり、日向になり子どもたちを応援して下さった「たくさんの大人の方たち」がして下さったことや姿も、どうか心の深いところに残ってほしいと願います。

3月弥生、春の訪れとともに、自分が4年間一緒に過ごした6年生がこの3月に巣立っていく月となりました。

次へ向かう充実した日々になるよう感謝の思いで子どもたちとともに年度末を迎えたいと思います。

